

## 第2分科会 尼崎市 保育環境評価スケール(ECERS) を用いた保育環境の見直し

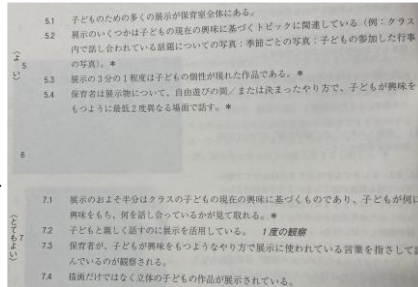
尼崎市私立幼稚園連合会研究部

七 松 幼稚園 亀 山 秀 郎  
みのり 幼稚園 松 本 宜 泰  
認定こども園 立花愛の園 幼稚園 木 曾 真 由 香  
認定こども園 関西国際大学付属 難波愛の園 幼稚園 辰 巳 裕 子  
武庫からたち 幼稚園 三 木 理 恵

1

## 子どもに関係する展示 よい・とてもよい

- ・3-4グループに分かれ、各保育環境の写真を持ち寄り子ども達の様子や、課題点を話し合った。
- その後「保育環境評価スケール」を用い個々にチェックを行う。



4

## 掲示物を見つめ直してみよう ～数字や文字～

- ・立花愛の園幼稚園
- ・3歳児 れんげ組 担任:木曾 真由香
- ・年少児 男:12人 女:6人 計:18人



### 【子どもの姿】

- ・自然物に興味を持ち、自然物の色の違いや大きさの違いに興味を示している。
- ・室内の掲示物に興味を示している。

7

## 1 はじめに

- ・尼崎市私立幼稚園連合会では、大阪総合保育大学大学院 埋橋教授をお招きし、保育環境評価スケールを用いた研究を行った。
- ・各保育者の保育環境をこのスケールをもとに見直し、改善する事で子ども達の活動や保育内容の変化を観察・検討した。



2

- ③ サブスケールのいずれかの項目に注目した保育環境の写真を持ち寄り、写真を見ながら説明を行い、講師がコメントを行った。

- ④ 保育環境を「保育環境評価スケール」をもとに見直し・改善する事を繰り返した。そして、子どもたちの活動や保育内容の変化を指定様式に作成し、その作成した内容を見ながら説明を行い、講師のコメントを受けた。



5

秋になり、色んな落ち葉が落ちてきたよ！

いろんなはっぱがおちてる！

もってかえりたい！

いろんな おおきさがあるね！

★違いに気付いて伝えてくれるようになった。

しかし・・・

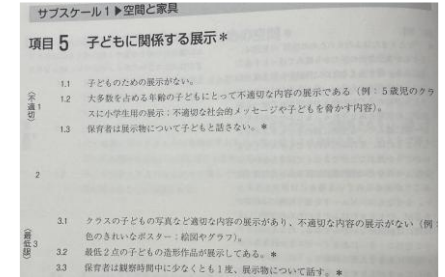
△袋に入れて持って帰るということが多くなっていった

保育環境スケールを通して  
項目25 数字の経験  
3・4数字と実際の絵や物の数を関連づけるという点を意識。

8

## 保育環境評価スケール・サブスケールの項目

- ・空間と家具1～7
- ・右は項目5を表記
- ・養護8～11
- ・言葉と文字12～16
- ・活動17～27
- ・相互関係28～32
- ・保育の構造33～35



3

## 3 研究の経緯

研究委員が集まり、2学期に4回実施した。

## 4 研究委員所属園

からたち 幼稚園 認定こども園 武庫愛の園 幼稚園  
慈 愛 幼稚園 みこころ 幼稚園  
園田慈愛 幼稚園 武庫からたち 幼稚園  
認定こども園 立花愛の園 幼稚園 武庫東からたち 幼稚園  
認定こども園 七 松 幼稚園 明 和 幼稚園  
認定こども園 関西国際大学付属 難波愛の園 幼稚園  
幼保連携型認定こども園 はまようちえん

6

## 色や大きさの違いに気付いて 伝えてくれるようになった子ども達！

○集めた葉っぱを色ごとにノートに貼り、色の違いにより興味を持てるようにした。

○集めた葉っぱに何枚集めたか数字を書き、数字にも興味を持てるようにした。

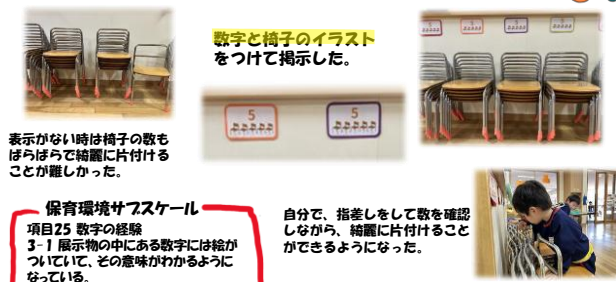
いっぱい集めたら葉っぱのお風呂ができるね！

より色の違いに興味を持つようになった。また、数字にも興味を示すように！

数に興味を示すと増えたらどうなるのかという疑問がでてきて最終葉っぱお風呂という遊びに繋がった。

9

## 12345 数字に興味を持ち始めたよ！ 6789



10

## 文字にも興味を持ち始めるように！！



11

## ～保育環境評価スケールを見直して感じたこと～

★今まで気付かなかった点に気付くことができ  
様々な視点で保育を見直すことができた。

★その結果、子ども達の興味も変わり、また新たな  
子どもの姿が見られるようになった。

★文字や数字など、日頃から触れられるような環境を  
作っておくことの大切さを学ぶことができた。

12

## 保育環境スケールを用いた 保育環境の改善と子どもたちの変化

学校法人 演名山手学院

認定こども園

関西国際大学附属

難波愛の園幼稚園

3歳児 ぱんだ組 担任 辰己裕子

13

## 関西国際大学附属 難波愛の園幼稚園

・兵庫県尼崎市南部の住宅街にある認定こども園

・関西国際大学附属の幼稚園

・園児数 254 名

・園庭、グラウンド2つ、ビオトープ

14

## テープカッター台



- ・素材遊びで使用
- ・共有しているため、  
「そのテープかして」  
「赤のテープとって」  
といったやりとりがあった。
- ・片付けは回りの素材を片付けるにとどまり、テープカッター台は置きっぱなしであった。

15

## 階段



- ・階段に数字の表示なしで使用。
- ・階段について何段あるなどの会話はなく  
段数や高さなどに興味を持つ子どもは  
ほとんどいないように思われた。
- ・階段の色で上りと下りを分けていた。  
上っている途中に、一番上まで集中して  
上がれず柵に足を掛け、止まる子もいた。

16

## サブスケールによる 環境の改善①



- サブスケール、項目24  
「日常生活の中の算数」3. 2の  
「保育者が、算数とは直接つながらない場面でも時々算数に関わる言葉を使う」を実践する。
- ・テープカッター台に数字を付けてみる。

17

## サブスケールによる 環境の改善②



- ・サブスケール4の項目24  
「日常生活の中の算数」7. 2の  
「保育者が算数と直接つながらない場面でも、子どもとやりとりするとき、数字を使いながら理由を考えるようにしむける」を実践する。
- ・階段に数字を付ける。

18

### サブスケールによる 環境の改善③



- ・クリスマスまでの**数字**を書いたカレンダーを置いてみる。

19

### 保育環境による子どもの変化

- ・素材遊びの時に「**2番のテーブル**をとって！」など数字を付けたことで、呼び名のような形で示すようになったり、テーブルカッター台が**何台あるか**が分かり、片付ける時には**揃えよう**とする姿も見られるようになった。
- ・研修で伺った幼稚園の階段に数字が貼ってあり、私自身も数字を見ながら上がったので、自園でも数字を付けてみた。**数字を数えながら一番上の段まで集中して**上がるのができた。普段何気なく上がっていた子ども達も数字に気づいて**数えながら上がった**り、また**別の階段を数えてみたりする姿**も見られ、**数に対する興味**が高まってきたと感じた。

20

### 保育環境を見直したことによる感想

- ・自園の教職員と、研修で学び・実践した「数に関する環境設定」を共有したことで、**日常生活の中で**少しでも多く数に触れられるようにと、クリスマスのカレンダーを準備してみるなど、**園全体での意識**が高まってきたと感じた。
- ・**どのような場面でも子どもたちが数に触れ、興味を持てる**ようにするには保育者が**意識して保育環境を工夫**することで可能だと感じた。また、試してみたことが**評価スケールの中のどの項目**にあたり、それぞれの**指標**に注目して、**次に何ができるか**を見つけていくことが重要である。

21

### 給食をおいしく楽しく いただくための取り組み

武庫からたち幼稚園

3歳児 いちご組 担任：三木 理恵

クラスの概要

年少児 男:16名

女:10名

計:26名 (うち 満3歳児5名)

・子どもの姿

興味のあることや、気になることについて  
みんなで話したり考えることができる。



22



《これまでの保育環境:12月》

サブスケール4『活動』

項目24『日常の中の数数』に注目

- ・給食の残飯の量が日によって違うという話から食育やSDGsにもつなげたいという思いから残飯の量を量ることにした。
- ・保育者が毎日子ども達の前で残飯の重さを量り、重さをホワイトボードに書き、数字を見たり指を数えながら1の位から順に数字の大小を確認する。
- ・前日と比較して数字が少ない(重さが軽い)方を子どもたちが指を指して確認をすることが習慣になっていった。

23



《研修後に見直した保育環境:12月》

保育環境を見直したことによる感想

- ・サブスケール4『活動』
- ・項目24『日常生活のなかの数数』に加え、項目25『数字の経験』とサブスケール2『養護』項目6『食事/間食』に注目した。
- ・量りの絵を用意して、残飯の重さ分を赤い画用紙で表示し、わかりやすくして掲示した。
- ・赤い画用紙は簡単に取れるようにし、子どもたちが手に取って比べられるようにし、量りの絵の下に数字でも書くようにした。
- ・数字だけの表と違い、赤い部分を取り外して比較できるようにしたことと具体的に一番多い日、少ない日、同じ日など話しあえるようになった。

24

### 保育環境を見直したことによる感想

- ・この取り組みを通して他のクラスの先生や給食室の方との会話も増え、結果を嬉しそうに報告する子が増えた。
- ・物の重さに興味を示し、「色々なものを量ってみたい」と重さや長さなど、比較することを楽しむようになった。

25

### 保育環境の見直しの視点

- ・子どもの興味関心に沿った印や掲示物からスタート。
- ・掲示する表示の工夫  
例えば、「区別」「比較」「分かりやすい絵」等
- ・より意味を持たせた表示に色、数字、文字等  
⇒子どものより発展できるように遊びに繋げる発想をイメージして。

26



27

